

改善箇所説明図



不具合の内容

セントラルビジョンパークアシストモジュール（CVPAM）のソフトウェアにおいて、設計検討が不十分なため、リアパーキングカメラを使用して駐車した直後に車両電源をオフすると、サラウンドビューカメラシステムの機能が停止することがある。そのため、再始動時にメディア画面がブラックアウトまたはブルーアウトとなり、直前直左確認用のカメラ映像が表示されず、保安基準に適合しないおそれがある。

※セントラルビジョンパークアシストモジュール（CVPAM）：車両前後左右のカメラにより上空から見た画像を合成表示し、前後バンパー内蔵の超音波センサーにより、障害物の有無を表示して駐車操作を支援する

改善の内容

全車両、セントラルビジョンパークアシストモジュール（CVPAM）のソフトウェアを対策プログラムに書き替える。

※注意： は改善を行う部品を示す。

作業終了の識別

車台番号打刻（VIN プレート）の左横に白色のペイントを塗布する。